



広報

No.293

～ 文教のまち西原 ～

にしはら

町の世帯・人口
(平成8年5月末現在)

世帯数	9,568世帯
人口	29,810人
男	15,155人
女	14,655人
5月の人口移動	
出生 34件	死亡 8件
転入 122件	転出 94件
婚姻 11件	離婚 10件

編集・発行/西原町役場文化広報課(広報係) 西原町字嘉手苅112番地 ☎098(946)9846 印刷/(協)丸正印刷



として保存すると便利です

内間青年会が15年ぶりに本島縦断駅伝を開催

会員の親睦と団結を図ろうと、内間青年会(大城聡会長)では、5月25日、第6回内間青年会沖縄本島縦断駅伝を開催しました。

午前6時に1区の走者上間拓明君がスタート、内間公民館前から国頭村の辺土岬までの120キロメートルを約11時間かけて20名の走者が走り継ぎました。

中でも最年少走者の大城ともみさん(西原東小2年)と最年長走者の瑞慶覧長健さん(65歳)が、青年たちに交じって健脚ぶりを発揮、注目を浴びました。

内間青年会は、かつて町の駅伝大会で、不滅の13連勝を達成するなど健脚で鳴らした輝かしい経歴を持っていました。しかし、青年会活動の停滞に伴い町の駅伝大会での成績がふるわなくなり、また、本島縦断駅伝大会も行われなくなって、今回が15年ぶりの復活となりました。

駅伝後に行われた懇親会の席上でも、今回の駅伝大会の復活を契機に青年会活動を活発化しようと意気盛んでした。

今月の主な内容

- マリン・タウン・プロジェクト 起工式と祝賀会
- 『太平洋戦争・沖縄戦世帯別被災者記録』を発行
- 各種団体の総会
- 第24回 町老人クラブ大会
- お知らせでーびる



マリン・タウン・プロジェクト

M・T・Pで起工式

”ア
メ
ニ
ティ
豊
か
な

海辺のまちづくり“始まる

中城湾港(西原与那原地区)埋立事業の起工式と祝賀会が、五月三十日午後、同事業の関係者ら多数が参加して、与那原町青少年広場で開かれました。

これは、平成八年一月に公有水面埋立免許を取得した中城湾港マリン・タウン・プロジェクト西原与那原地区における同事業の円滑な推進と工事の安全を祈願して行われたもの。主催は、県と中城湾港南部開発行政連絡協議会。

起工式では、吉元政矩副知事や中城湾港南部開発行政連絡協議会の山内俊光会長(与那原町長)ら関係者四人がくわ入れを行って、工事の安全

を祈願しました。

中城湾港マリン・タウン・プロジェクトは、西原町、与那原町、佐敷町、知念村の四町村にまたがる二百二ヘクタ

ールを埋め立て、湾港整備と町づくりを一体化して地域の産業振興と活性化を図り、海辺のアメニティ豊かなまちづくりを推進しようというもの。総事業費七百七十二億円をかけて、八年間

プロジェクトのこれまでの経緯

- 昭和60年8月 小規模静穏海域整備事業として中城湾南部地域の与那原町を中心とした海域が候補地となる。
- 昭和60年10月 小規模静穏海域整備事業を名称変更してマリン・タウン・プロジェクトとする。西原町、与那原町、佐敷町の開発可能性構想を作成する。
- 昭和61年1月 昭和61年より、国、県、3町共同でマリン・タウン・プロジェクト構想調査を進めることを確認、プレス発表する。
- 昭和61年4月 対象地域を知念村まで拡大する。
- 昭和61年11月 マリン・タウン・プロジェクト構想調査をはじめ。
- 昭和63年12月 港湾計画調査をはじめ。
- 平成元年6月 マリン・タウン・プロジェクトを推進するため住民大会が開催される。
- 平成元年11月 県の主要施策、事業連絡調整会議に提案、承認される。
- 平成2年6月 沖縄県地方港湾審議会において計画が承認される。
- 平成2年8月 港湾審議会第132回計画部会において計画が承認される。
- 平成3年4月 県土木建築部港湾課内に、中城湾港マリン・タウン・プロジェクトチーム発足。

中城湾には、同地区を北限とするトカゲハゼが生息することから、その保護や漁業補償、都市施設などをめぐり、問題が指摘されて、これまで計画は難航していました。県は一九九五五年に「トカゲハゼ保全計画」などを策定し、環境庁が指摘した問題等を解決、今年一月に



△中城湾港マリン・タウン・プロジェクト(西原与那原地区)埋立事業の起工を祝って、関係者代表によりくす玉があげられました。

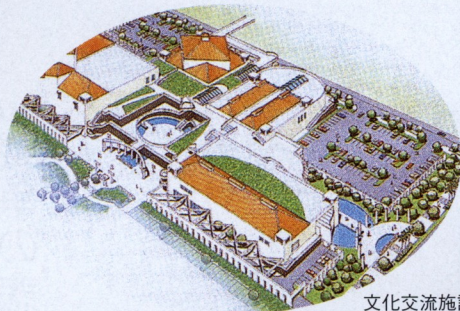
で整備する予定。今回の西原与那原地区の工事は第一期で、西原町と与那原町にまたがる百四十二ヘクタールを埋め立てます。埋立地にはマリナーや人工ビーチ、工業用地、住宅地、商業用地などが計画されています。

埋め立て事業の認可を受けていました。

安全祈願祭、起工式に引き続き、祝賀会が開かれ、関係市町村の団体から余興も披露されるなど同事業の船出を祝いました。

湾岸拠点都市の形成
潤いのあるみなとまち「マリーナタウン」の形成

中城湾港南部の拠点都市として、また、海に開けた海とのふれあいのある街としてマリーナ・人工海浜を中心とする湾岸拠点都市（マリーナタウン）を形成します。



文化交流施設



宿泊施設(コンドミニウム)



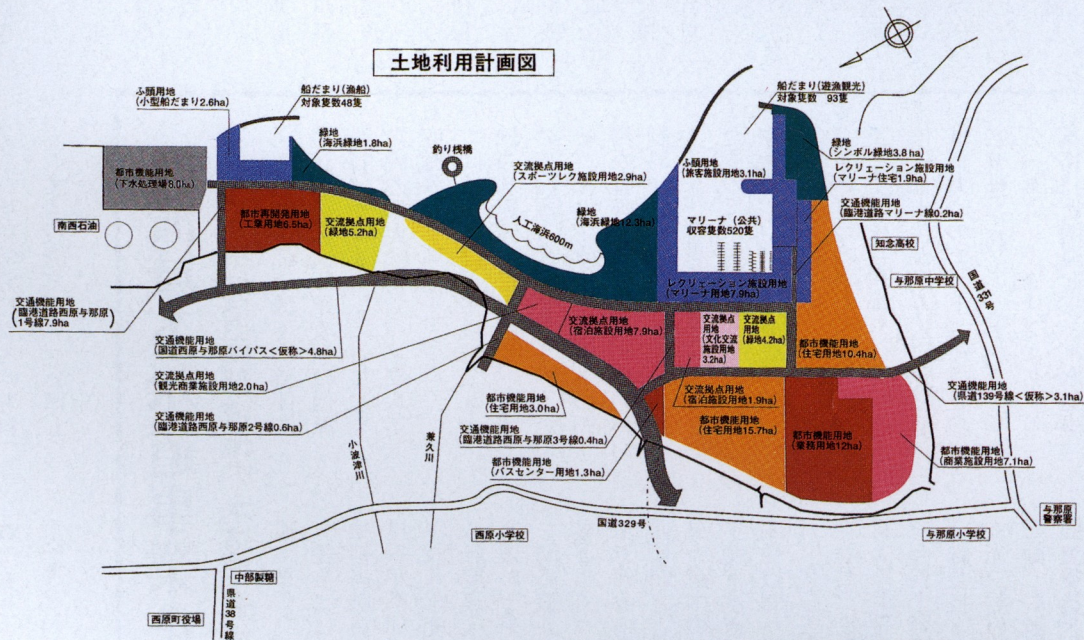
マリーナ施設



B a s i c P l a n

基本方針

- 1. 活力と潤いのあるみなとまちの形成
- 2. 観光拠点の整備
- 3. 地域産業の振興
- 4. 自然環境の保全と創造



事業化のあらまし

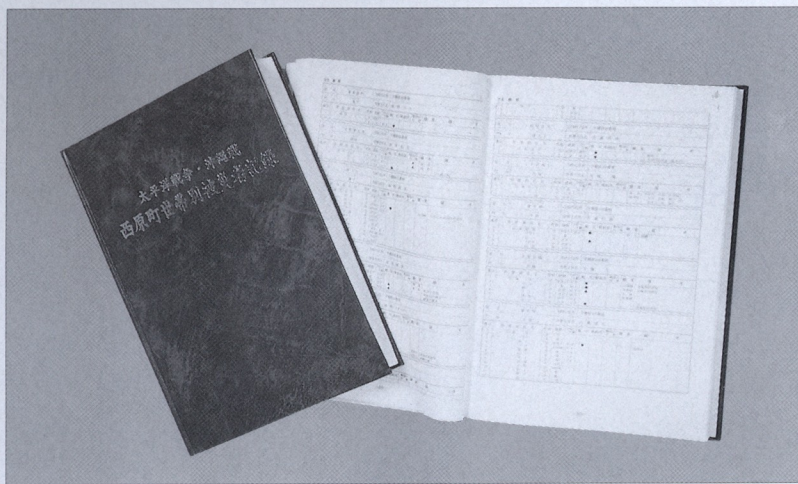
マリン・タウン・プロジェクトは、基本的に土地造成は県が整備し、引き続いて道路、下水道等の基盤整備を県及び4町村がそれぞれ整備し、その後、公園・建物等の施設整備は、県、4町村、第3セクター、並びに民間等が整備を行う予定です。

事業化のスケジュール

マリン・タウン・プロジェクトは、埋立免許取得後、早期に工事に着手し、おおよそ8年間で整備する予定です。

年次	1年目	3年目	6年目	8年目
地区				
西原と那原				
佐敷東				
知念				

『太平洋戦争・沖縄戦 西原町世帯別被災者記録』を発行



△このたび発行された『太平洋戦争・沖縄戦 西原町世帯別被災者記録』

戦争による被災の実態を明らかに “戦争の悲惨さと平和の尊さを訴える記録”

町ではこのほど、太平洋戦争・沖縄戦における当時の西

原町の被災実態をまとめた『太平洋戦争・沖縄戦西原町世帯別被災者記録』を発行しました。当時の住民全員の名

前と年齢、生死の別などが、二十四の字ごとにそれぞれ世

帯別に被災状況として掲載されています。これは、本町が一九八一年から実施した関係者の聞き取り調査の結果、明らかにしたことをまとめたもので、一九八六年に出版した『西原町史』第三巻資料編二・西原の戦時記録』の編集の基礎資料となりました。

「崎原」、「仲伊保」、「伊保之浜」といった現在はない字を含めた当時の住宅地図を載せ、各世帯の被災状況を実名で記載、把握できた部分に関しては亡くなった場所や月日を掲載しました。

本町は、沖縄戦で当時の住民の約四十七パーセント、五千百人が亡くなるなど大激戦地。特に日本軍の駐屯地があった字翁長では、住民の六割以上が犠牲となり約四割(七十一戸)の世帯が一家全滅しました。

この記録を編集した町史編

集書の波平常則文化係長は

「この記録により被災の実態が明らかになり、沖縄戦の実相がうかがえることから、戦争の悲惨さと平和の尊さを訴える“平和学習”などの資料としても役立てたい」と話し

流域下水道事業を推進

—中城湾南部流域下水道促進協議会—

中城湾南部流域下水道促進協議会(会長―平安恒政西原町長)が、六月十一日午後、町内の式典会場で、平成八年度総会を開催しました。

同協議会は、中城湾公共水域の水質汚濁を防止し、地域の生活環境の改善を図るため、公共下水道整備促進の円滑な推進と関係町村の協力体制の確立を目的に平成五年(一九九三年)八月に発足したもので、西原町、与那原町、佐敷町、中城村で構成しています。

あいさつの中で平安会長は「本協議会を構成する四町村は、都市化が進み人口急増地域であるので、下水道事業の必要性が高い。また、マリン・タウン・プロジェクトの本格化と関連して、下水道事業の早期着手に向けて本協議会の果たす役割は大きい」と

ていました。

同記録は、A四版、五百八十五頁、定価千五百円。

《問い合わせ先》西原町役場文化広報課 町史編集室

☎〇九八一九四六―九八四六(内線一七二)まで。

述べました。

総会には、四町村の町村長や担当職員、県下水道課の職員らが参加、会則案、役員案、平成八年度事業計画案、平成八年度歳入歳出予算案などを審議し、承認しました。

同協議会では平成八年度事業として、下水道促進デーの取り組み(九月)、技術及び施設研修(十月)、下水道整備中央大会への役員派遣と平成九年度下水道予算獲得運動及び関係機関への要請行動(十一月)などを予定しています。

なお、役員は次の通り(任期は二年)。

▽会長―西原町長・平安恒政
▽副会長―与那原町長・山内俊光
▽委員―佐敷町長・津波元徳、中城村長・新垣盛繁
▽監査委員―与那原町収入役・新垣庸昭、佐敷町収入役・勢理客徳助



△「次代を担う人材育成」とあいさつを述べる平安恒政町人材育成会会長。

次代を担う有為な人材育成のために

町人材育成会が平成8年度総会

町人材育成会(会長―西原町長・平安恒政)は、六月六日午後、町役場二階議会委員会室で平成八年度総会を開催しました。

総会では、平成七年度事業・決算報告後、平成八年度予算案等を審議、承認しました。

あいさつの中で平安会長は「学資貸与や体育的行事・文化的活動への県外派遣にかかる費用の助成など、有為な人材の育成のため本会への町民

の期待は大きい。近年は、たくさんの篤志家や企業からの寄付金もあり、本会に対する理解も深まってきたように思います。今後もより一層、本

会の趣旨が理解されるよう努めていきたいと思います」と述べました。

また、総会に先立ち、人事異動等に伴う役員交代のため、新しく役員となった七人に委嘱状が交付されました。

なお、平成八年度の役員は次の通り(敬称略)。

平成8年度町人材育成会役員名簿

役職名	氏名	役員名
西原町長	平安恒政	会長
西原町教育委員長	城間期一	副会長
琉球大学名誉教授	玉城政光	理事
西原町議会議長	富春治	〃
沖縄県立西原高等学校校長	仲里恒雄	〃
西原町立西原中学校校長	小成善徳	〃
西原町立西原東中学校校長	松川邦雄	〃
西原町立西原小学校校長	宮里政和	〃
西原町立坂田小学校校長	宮里憲幸	〃
西原町立西原東小学校校長	大盛永意	〃
西原町立西原南小学校校長	奥間輝夫	〃
西原町青少年健全育成協議会監事	与那城長助	〃
西原町地域ぐるみ基礎学力向上推進協議会会長	松原聡	〃
西原町商工会会長	呉屋定子	〃
西原町社会福祉協議会会長	宮平吉太郎	〃
西原町文化協会会長	屋良朝光	〃
西原町婦人連合会会長	城間民子	〃
西原町老人クラブ連合会会長	与那城誠二	〃
西原町PTA連絡協議会事務局長	大城洋子	〃
西原町助役	小川良夫	〃
西原町監査委員	金城哲男	監事
西原町監査委員	城間盛安	〃
西原町教育長・西原町体育協会会長	稲福恭助	事務局長
西原町収入役(職務代理者)	郷清一	会計

宮城幸子さんが新会長に

西原町女性団体連絡協議会(Ⅱ女団協

議長、承認されました。

また、新役員紹介が行われ、新会長になった宮城幸子さん(町更生保護婦人会長)が「それぞれの立場から、みん

なで協力していきましょう」とあいさつしました。

来賓として平安恒政町長、富春治町議会議長、比嘉美枝子県女性政策室副参事らが祝辞を述べました。

総会後には、懇親会も催され、町商工会婦人部やサンライズ農業協同組合西原婦人部による余興などもあり、懇親を深めていました。

なお、平成八年度役員は次の通り(敬称略)。

▽会長―宮城幸子▽副会長―城間民子、城間富子▽理事―長崎ノブ子、阪本登代子、与那嶺和子、宮城邦子、大城富士子、城間典子▽監事―儀間信子、比嘉幸子▽事務局長―新垣洋子

平成八年度総会

《町母子寡婦福祉会》

町母子寡婦福祉会(阪本登代子会長)が、六月二日午後、町社会福祉センターで平成八年度総会を開催しました。平成八年度役員は次の通り(敬称略)。

▽会長―阪本登代子▽副会長―知念凉子▽会計―城間光枝、比嘉キヨ、大神田寿子、城間律子、井上藤子▽監事―久手堅敬子、下地郁子▽顧問―大城優子、平良梅子



長寿の喜びを実感

―第二十四回町老人クラブ大会―

町老人クラブ連合会(与那嶺誠二会長)では、「創造と連帯の輪を広げて 心豊かな二十一世紀を」をスローガンに、六月十二日午後、町中央公民館で、第二十四回西原町老人クラブ大会を開催しました。

大会では、与那嶺会長のあいさつに引き続いて、功労者に対しての表彰状や高額寄付者への感謝状の贈呈、平成七年度事業実績と収支決算の報告、平成八年度事業計画と収支予算案の審議・承認、役員



△「創造と連帯の輪を広げて 心豊かな21世紀」をスローガンに開かれた第24回町老人クラブ大会。

と単位老人クラブ会長の紹介などが行われました。

あいさつの中で与那嶺会長は「互いに支えあい励ましあひながら長寿の喜びを実感できる『魅力ある老人クラブ』づくり、リーダーの養成、クラブ加入促進に積極的に取り組もう」と参加者に呼びかけました。

また、平安恒政町長、小渡良文中部地区老人クラブ連合会長、新垣常夫町議会副議長、宮平吉太郎町社会福祉協議会会長ら来賓もそれぞれ祝辞を述べました。

大会は「老人クラブ『ねたきりゼロの十カ条』を実践しよう」、「寝たきり老人・ひとり暮らし老人等への友愛訪問活動を実践しよう」、「社会参加活動・奉仕活動を通しての地域諸団体との交流を図ろう」、「老人クラブ新規会員加入促進を積極的に推進しよう」の四つの決議と宣言分を採択し、盛会裏に幕を閉じま

した。

また、大会後には、各単位老人クラブの民謡レクサークルが余興を披露するなど、和気あいあいとした雰囲気の中、懇親を深めていました。

なお、表彰者は次の通り(敬称略)。

【役員功労】▽屋良朝吉(上原老人クラブ前会長)▽浦添朝勝(坂田熟年クラブ前会長)

▽我謝正奉(小波津団地老人クラブ前会長)▽宮平ツル子(兼久若松会前会長)▽中山トヨ(西老連前監事)

【会員功労】▽與那嶺貞子(幸地)▽仲宗根ツル(幸地)▽宮里榮子(棚原)▽比嘉ヨシ(棚原)

▽玉那覇富子(小那覇)▽玉那覇春子(小那覇)▽當間嗣安(兼久)▽中山盛孝(兼久)

▽我謝正奉(小波津団地老人クラブ前会長)▽宮平ツル子(兼久若松会前会長)▽中山トヨ(西老連前監事)

▽呉屋カメ子(与那城)▽石川かよ(与那城)▽新垣弘(小波津団地)

【高額寄付】

▽屋良ウト(米寿祝記念)▽宮平ヨシ(米寿祝記念)▽小川カマド(米寿祝記念)

▽金秀グループ会長呉屋秀信▽與那嶺タケ子(生年祝記念)▽喜屋武久真(生年祝記念)▽安谷屋昌夫(生年祝記念)

町商工会(呉屋定子会長)は、五月二十九日午後、西原共同福祉施設二階ホールで、平成八年度通常総代会を開催しました。

総代とは会員代表のこと



△町商工会の平成8年度通常総会から。

総代会では、平成七年度事業報告や役員の一部改選などが審議され、承認を受けました。

また、優良従業員として十五事業所四十三名が表彰されました。

総代会には、平安恒政町長、富春治町議会議長が来賓として出席し、それぞれ祝辞を述べました。

総代会終了後には、懇親会があり、互いの親睦を深めていました。

地域社会により信頼されるセンターをめざって

―(社)西原町シルバー人材センターが総会―

社団法人西原町シルバー人材センター(城間期一理事長)は、六月十三日午後、町中央公民館で、平成八年度通常総会を開催、約二百人が参加し

ました。

同センターは、個々人の豊富な社会経験や優れた技量、能力を活かした臨時的・短期的な労働を通して「生きがい」

の充実を図ろうと、「自主・自立・共働・共助」を基本理念に、平成五年十一月一日に設立され、今年で四年目を迎えました。

以来、受注件数、契約金額、就業延人員とも順調な伸びを見せています。また、安全推進員を通して安全就業講習会、交通安全講習会、施設管理研修会等も開催するなど就業上の安全対策も実施しています。

総会では、平成七年度事業報告、平成七年度一般会計収支決算と監査報告、平成八年度事業計画案、平成八年度一般会計収支予算案、役員の選任案などが審議され、承認されました。さらに、役員を退任した理事七人が表彰されました。

新役員を代表して新しく理事長となった新垣民雄氏は「これまでのセンター活動を充実発展させ、より一層地域から信頼されるシルバー人材

センターとなるよう努力していきますでしょう」とあいさつしました。

また、高嶺朝幸県商工労働部長(代読)、平安恒政町長、富春治町議会議長らが来賓祝辞を述べました。

総会に引き続き、懇親会も

催され、参加者は余興を楽しみながら親睦を深めていました。

なお、表彰を受けた方々は、次の通り(敬称略)。

▽城間期一▽平良梅子▽呉屋安信▽呉屋厚雄▽呉屋寛▽与那嶺絹子▽小波津勇

農業の合間にクシユクイ(中休み)

―第七回農家の集い―

町(平安恒政町長)とサンライズ農業協同組合(喜納宏組合長)の主催による「第七回農家の集い」が五月十七日午後、町中央公民館で、約三百人が参加して開催されました。

引き続き町内の琉球舞踊研究所や民謡研究所による余興があり、参加した農業関係者らはそれらの余興を楽しみながら懇親を深めていました。

これは、町内の農業関係者が一堂に会して相互交流し、また優良農家を表彰することで農業への励みとしていたことがうきびの品質取引など、依然厳しい農業経営の現状の中、優良農家として努力している農家の方々が表彰されました。

なお、表彰された優良農家の方々は次の通り(敬称略)。

また、当銘勝雄県農林水産部長(代読)、富春治町議会議長が来賓祝辞を述べました。

【さとうきび農家】《春植》長嶺由仁(宇津花波四番地)、《株出》大城清栄(宇小橋川六十一番地)、《夏植》平良栄信(宇我謝二百二十七番地)

また、富春治町議会議長が来賓祝辞を述べました。

【花卉農家】新川雄紀(宇小波津六百四十一番地)【野菜農家】石原昌春(※農林水産部長賞も受賞。宇上原百二十六番地の五)【畜産農家】外間朝幸(宇幸地二百一十番地)

また、富春治町議会議長が来賓祝辞を述べました。

【さとうきび農家】《春植》長嶺由仁(宇津花波四番地)、《株出》大城清栄(宇小橋川六十一番地)、《夏植》平良栄信(宇我謝二百二十七番地)

また、富春治町議会議長が来賓祝辞を述べました。

【さとうきび農家】《春植》長嶺由仁(宇津花波四番地)、《株出》大城清栄(宇小橋川六十一番地)、《夏植》平良栄信(宇我謝二百二十七番地)



△順調な活動をつづけ、着実に地域に根差しつつある町シルバー人材センターの平成8年度総会



△町内をパレードして、第38回水道週間にちなみ、水資源の大切さを訴えた。

第38回水道週間で節水パレード

西原町(平安恒政町長)では、第38回水道週間(6月1日から7日まで)にちなみ、6月3日午後、町内節水パレードを行いました。

パレードに先立ち出発式が行われ、あいさつの中で平安町長は「パレードで、町民への水道に対する理解と関心を高め、水資源の大切さをアピールしてください」と述べました。

町水道課や給水工事指定店の車輛合わせて14台が、横断幕等を掲げて町内をくまなくパレードしました。

このほか、町では水道週間にちなみ、町内小学校4年生を対象に授業の一環として西原浄水場の見学や作文・標語の募集等の事業実施を予定しています。



△各ゲームコーナーでは、友だち、親子がそろって楽しんでいました(「こどもふれあいまつり'96」から)。

みんなで遊ぼう!こどもふれあいまつり'96

町(平安恒政町長)と町社会福祉協議会(宮平吉太郎会長)では、5月19日、町中央公民館と町社会福祉センターを主会場に、「親子であそぼう ともだちとあそぼう」をテーマとした『こどもふれあいまつり'96』を開催しました。

会場には、中央公民館ホールでの勇壮なひまわり祭太鼓の演奏で幕を開け、タレントの鉢嶺元治さんを迎えてのふれあいコンサート、アニメ映写会、各種ゲームコーナーが設けられました。各コーナーではダーツゲームやもちつき、昔のおもちゃづくりといった様々な催しが行われ、会場を訪れたともだち同志や親子連れが、歓声をあげて楽しんでいました。

ま
ち
の
話
題



△青少協平成8年度総会のもよう

すこやかに伸びよう 伸ばそう守礼の子

—青少協が平成8年度総会を開催—

町青少年健全育成協議会(平安恒政会長)は、6月3日午後、町役場2階会議室で、平成8年度総会を開催しました。

総会では平成7年度の事業報告と決算報告・監査報告、平成8年度事業計画案・予算案の審議、役員の承認などが行われました。

あいさつの中で平安会長は「都市化に伴い青少年への有害な雑誌や電話を使った犯罪などが地方に広がりつつある。諸悪はほとんどが深夜徘徊が原因となることが多い。子どもの深夜徘徊は、親の家庭不在の現れ。親をはじめとする大人が襟を正していくことが大切だ」と述べました。

また、東恩納兼吉浦添警察署長があいさつ中で最近の青少年非行の実態や犯罪の傾向などを述べました。

同会では今後、夜間の巡回指導、青少年スポーツ交流大会の開催等を実施していく予定です。



△リサイクル講演会の実施などを決めた町クリーン指導員連絡協議会の平成8年度総会。

町クリーン指導員連絡協議会が総会を開催

町クリーン指導員連絡協議会(大城盛孝会長)は、6月12日午後、西原共同福祉施設2階ホールで、平成8年度総会を開催しました。

総会では、平成7年度事業報告の後、平成8年度事業計画案、役員選出案などが審議され、承認されました。今年度事業として、クリーン指導員の研修会、小学生や中学生、その父母を対象としたリサイクル講演会などを予定しています。

また、総会に先立ち、新クリーン指導員に対して委嘱状交付が行われました。

なお、役員は次の通り(敬称略)。

▷会長—大城盛孝▷副会長—福島 都、中山善正▷評議員—山内奈保子、外間都子、比嘉京子、宮平昌信▷事務局長—棚原盛光

いっしょに遊ぼう！

～夏休み・移動児童館のお知らせ～

西原児童館・西原東児童館では、坂田小学校区域と西原南小学校区域に住む児童・ご父母を対象に下記の日程で移動児童館を行います。

目的 町民へ児童館活動を紹介すると共に、工作教室や遊びを通じ交流を深める。

内容 工作教室、紙芝居読み聞かせ等

日程



日・曜日	場 所	日・曜日	場 所
7月25日(木)	幸 地 公 民 館	8月12日(月)	坂田ハイツ自治会事務所
30日(火)	棚 原 公 民 館	13日(火)	小波津団地自治会事務所
8月1日(木)	翁 長 公 民 館	15日(木)	池 田 公 民 館
8日(木)	安 室 公 民 館	22日(木)	県営西原団地自治会事務所

時間 午後2時～4時 皆さん遊びにきてね！



なお、詳しいことは

(西原児童館 ☎945-4393
西原東児童館 ☎944-0976まで

お知らせ
でーびる



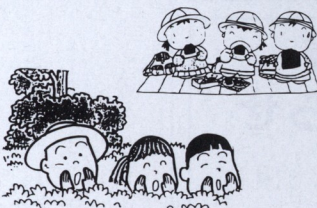
案内・募集

7月

ご存じですか？

児童扶養手当及び

特別児童扶養手当のこと



《児童扶養手当》とは、離婚や死別などで18歳未満の子供の監護をしている母、母にかわって、養育している人、父が重度の障害者である場合に支給されます。

なお、支給要件が発生した人は、5年以内に請求しなければ、請求権がなくなりますので、ご注意ください。

《特別児童扶養手当》とは、精神または身体に障害を有する20歳未満の児童を監護する父か母、または父母にかわってその児童を養育している人に支給されます。

【児童の福祉の増進を図ることを目的として手当が支給される制度です。】

※受給資格・支給制限等の詳細については、窓口で説明しますので、ご相談ください。

問い合わせ先 西原町役場 福祉課
☎945-5311 (内線123)

西原町小口資金をご活用下さい！

平成8年度西原町小口資金融資が5月から開始しました。町村の小規模企業者の育成振興を図るための融資制度です。個人・法人いずれでも利用できます。

項 目	融 資 条 件
融 資 総 枠	30,000,000円
融 資 使 途	(1)運転資金 (2)転業資金 (3)設備資金
融 資 利 率	年3.00%
一企業当り限度額	3,000,000円
貸 付 期 間	3年以内(据置期間3ヶ月)
返 済 方 法	月賦償還又は一括償還
申 込 受 付 機 関	西原町役場産業課
取 扱 金 融 機 関	沖縄海邦銀行西原支店
融 資 実 施 期 間	平成8年5月15日～平成9年3月末日
町 申 込 受 付 期 限	平成9年2月末日
保証協会受付期限	平成9年3月15日

※その他、対象事業所、規模などの条件があります。問い合わせは、西原町役場産業課(電話945-4540)まで。

第9回 親子で学ぶ戦争追体験平和バスツアー参加者募集

1. 趣 旨

風化しつつある戦争体験を子孫に正しく伝承するため、親子で町内、県内の戦災跡地や平和祈念資料館等を訪ね、戦争の悲惨さと無益さ、及び平和の尊さについて実地で学習することにより平和に対する町民の意識の高揚を図る。

2. 共 催 西原町・西原町教育委員会

3. 日 時 平成8年7月26日(金)

午前8時30分 町中央公民館集合

(時間厳守) 班分・点呼

午前8時50分 出発式

午前9時 出発

午後4時 町中央公民館着 解散式

4. 募集予定人員 90人(大型バス2台予定)

5. 戦跡等巡回コース予定(都合により一部変更もあり得る)

町中央公民館→西原の塔→小波津の旧日本軍陣地壕跡→

南風原陸軍病院跡→糸満壕(玉城村)→平和祈念公園〈昼食〉
平和祈念資料館→ひめゆり平和祈念資料館→町中央公民館

6. 募集方法

①申し込み期限7月10日(水)～7月19日(金)

(先着順で定員に達し次第締め切る)

②申し込みは直接、町文化広報課に指定の申込書により申し込むこと。(※申込書は各小・中学校、町役場文化広報課にあります。)

③申し込みは原則として親子で申し込むこと。

④参加料は無料とする。

(各自弁当・飲み物等は持参すること。)

7. その他(留意事項等)

①懐中電灯は1人1つずつ準備する。

②ツアー体験作文募集を予定(募集要綱は当日配布)

8. 事務局 西原町役場文化広報課(☎946-9846)

消 防 設 備 士 試 験

試験日時/平成8年9月1日(日)午前10時開始

試験種類/甲種(第1類～第5類)、乙種(第1類～第7類)

試験会場/沖縄国際大学、宮古工業高等学校、八重山農林高等学校

願書受付期間/平成8年7月22日(月)～7月26日(金)

願書配置先/消防試験研究センター、各消防本部、宮古、八重山支庁産業振興課

お問合せ/消防試験研究センター沖縄支部

那覇市旭町14番地 自治会館5階 ☎098-867-5332

寄付・香典返し

(ありがとうございました)

▽那覇市旭町二十七番地、金秀グループ(呉屋秀信会長)

が、人材育成と福祉事業に役立てて下さいと西原町人材育成会へ百万円、西原町社会福祉協議会へ三十万円。

▽字小那覇二百六十四番地の

一、沖縄タイムス小那覇販売店が、第八回チャリティー囲碁大会の収益金を一般寄付と

して西原町社会福祉協議会へ一万八千六百四十三円。

▽西原町建設協力会(比嘉清光会長)が、一般寄付として町人材育成会へ三十万円。

▽字呉屋九十四番地の一、下地郁子さんが、公民館館長の退職記念に一般寄付として町人材育成会へ二十万円。

▽字兼久百番地の三、稲福ス

ミさんが、故夫勝美さんの香典返しとして西原町社会福祉協議会へ十万円。

▽字幸地七百八十三番地、澤岷正一さんが、故妻静子さんの香典返しとして西原町社会福祉協議会へ五万円。

▽字我謝八番地の六、平田寛栄さんが、故父平吉さんの香典返しとして西原町人材育成会へ五万円。

(財)暴力団追放沖縄県民会議から相談事業のお知らせ

町民の皆さん、暴力団(員)による不当な行為により困っていることはありませんか。

暴力団に関する『困りごと』の相談は

- 「恐れず」
- 「迷わず」
- 「勇気を出して」

暴力団追放沖縄県民会議にご相談下さい。

◎ 当県民会議は、弁護士等専門の相談員を委嘱し、相談者の困りごとに対して、適切な指導助言を行い、問題の早期解決を図っております。

相談は、無料です。

○相談日は、毎週月曜日～金曜日

○時間は、午前10時00分から午後5時30分まで

○電話は、8 6 8 - 0 8 9 3

財団法人暴力団追放沖縄県民会議

7月21日(日) リサイクルの日 (資源ゴミは、決められた時間までに所定のステーションへ。)

'96 県産品奨励月間 のお知らせ

七月は、県産品奨励月間です。

県では昭和五十九年七月に「県内企業への優先発注及び県産品の優先使用基本方針」を策定し、毎年七月を「県産品奨励月間」として位置付け、産業界、消費者、行政等全県民が一体となって、県産品使用奨励運動を実施しております。

この運動は、多くの皆様に県産品の良さを知ってもらうことで、今まで以上に県産品を使っていたいただき、そして本県産品の振興に貢献することを目的としています。

今年の奨励月間の標語「美らさ ゆたかさ うちなーむん」のもと、各種事業、広報キャンペーンを実施してまいります。

皆様には、本月間運動の趣旨を御理解のうえ、より一層県産品をご愛用していただきますよう、御願ひ申し上げます。

詳細につきましては、左記までお問い合わせ下さい。

(社) 沖縄県工業連合会

TEL〇九八八三三一一三四九

FAX〇九八八三四一三三五六

沖縄県商工労働部工業振興課

TEL〇九八八六六一三三七

FAX〇九八八六六一二四四七

仕事の依頼は気軽にお電話下さい

- ※新たに人を雇うほどではないが、臨時的に入手が必要なとき。
- ※臨時の仕事ができて、それが高齢者に向いていると思われたとき。
- ※家庭内の仕事で、手伝ってもらふ適当な人がいないとき。

会員の方々はお互い助け合いながら、いろいろな仕事に従事しています。

会員募集中心!

西原町
シルバー人材センター
☎946-1699

- 会員になるためには
おおむね60歳以上で働く意欲のある健康な人で西原町に居住していることが条件です。
- 入会の手続き
入会申込書をセンターに提出するだけで会員になります。

- 会費
年度費として2,000円を納めていただきます。
- 仕事をするには
仕事はセンターから連絡します。
- 報酬
自分で働いた仕事量に応じ、配分金(翌月の15日。15日が休日のときは次の日)に支払います。
- 会員傷害保険
仕事に従事している間の傷害は、シルバー保険による保証が受けられます。
- 詳しいことは、センターへ連絡して下さい。
(社)西原町シルバー人材センター事務局 944-1699

第46回“社会を明るくする運動”について

本年も7月1日から社会を明るくする運動が行われます。この運動は、すべての国民が、犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築こうとする運動であり、全国的な運動です。

本県でも大田昌秀沖縄県知事が県実施委員会の委員長となり、様々な活動が行われます。

公的年金は

暮らしを支える大きな力

国民年金などの公的年金は老後生活の主柱といわれていますが、最新のデータで公的年金が高齢者の生活とどのように関わっているか見てみましょう。

まず、六十五歳以上の高齢者のいる世帯のほとんどが、公的年金を受け取っています。厚生省統計情報部の平成六年「国民生活基礎調査」によりみると、六十五歳以上の者のいる一、二八五万世帯の

うち、公的年金を受給しているのは一、二三六万世帯にもほり、実に九六・一%を占めています。公的年金が高齢者のいる世帯にいかに広がっているか、お分かりいただけますでしょう。

さらに、高齢者世帯一世帯当りの平均所得の半分以上は公的年金・恩給で占められています。同じ調査によりみると、高齢者世帯一世帯当りの平均所得額は三二〇万円。そ

のうち、公的年金・恩給が一七六万円で五五%を占めています。次に多いのは勤労所得の一・一五万円で三六%、財産所得の二・一十万円で七%となっており、高齢者世帯の主な収入源となっていることが分かります。

また、公的年金として高齢者などに支給された金額は、平成五年度には全国で約二九兆円にも達しており、しかもその額は毎年五、六兆円ずつ増加しているのです。

このように、公的年金は高齢者の生活にとって大きな役

割を果たしており、老後生活の主柱、老後生活の経済的な柱と言われているのです。

公的年金は世代と世代の支え合いの仕組みで成り立っており、国民みんなが制度に参加することで、安心して老後生活を送れるのです。

お問い合わせは

町役場国民健康保険課
国民年金係

☎九四五―四七二九

(内一五三)

7月26日(金)

第9回親子で学ぶ
戦争追体験バスツアー

(8:30、中央公民館→町内→南部
問い合わせ 町役場文化広報課 ☎946-9846(内172))

7月(JUL.)行事・祭事予定

- 1日(月)○住民一般健診(16歳以上で学校や職場で健康診断を受けていない町民、各字公民館、9:00~10:00、3日、5日、11日、12日、17日、19日、24日、26日)
- 3日(水)○離乳食実習(乳児、13:30、中央公民館)
○心配ごと相談(14:00~17:00、社会福祉センター内心配ごと相談室、10日、17日、24日、31日)
- 4日(木)○ポリオ
(3ヵ月~7歳半、13:00~13:45、中央公民館、11日)
- 7日(日)○区対抗バレーボール大会(9:00、主会場町民体育館)
- 8日(月)○3歳児健診
(H5.3.11~H5.4.8生まれ、13:30~14:15、社会福祉センター)
- 14日(日)○文化協会総会(14:00、町中央公民館)
- 17日(水)○第15回西原町道路排水愛護デー(9:00、町内)
- 18日(木)○1歳6ヵ月児健診
(H6.12.21~H7.1.18生まれ、13:30~14:15、中央公民館)
- 20日(土)○海の日
- 21日(日)○リサイクルの日
(資源ゴミは時間までに所定のステーションへ)
○区対抗ソフトボール大会(9:00、西原中学校)
- 23日(火)○中学生ボランティア・スクール
(9:00、社会福祉センター、町内福祉施設)
- 24日(水)○『西原町史』第5巻資料編4西原の考古 出版祝賀会
(18:30、中央公民館)
- 25日(木)○小学生ボランティア・スクール
(9:00、社会福祉センター、町内福祉施設)
- 26日(金)○第9回親子で学ぶ戦争追体験平和バスツアー
(8:30、町中央公民館→南部)
- 28日(日)○区対抗バスケットボール大会(9:00、町民体育館)

8月(AUG.)行事・祭事予定

- 5日(月)○3歳児健診
(H5.4.9~H5.5.5生まれ、13:30~14:15、社会福祉センター)
○青少年交流事業(山梨県都留市、~8日)
- 6日(火)○母親学級
(妊婦、13:30、社会福祉センター、13日、20日、30日)
- 7日(水)○心配ごと相談(14:00~17:00、社会福祉センター内心配ごと相談室、14日、21日、29日)
○ジュニア・ピース・メッセンジャー派遣(長崎、~10日)
(※都合により日程変更もあります)

中央公民館

映画上映のお知らせ
マイ・フレンド フォーエバー

はじめに—

医者は「HIVは誰も治せない」と言っているけど、僕は必ず治療法を見つけてみせる—偏見にも負けず、デクスターとの友情を健気に育むエリック。しかし、生涯のベスト・フレンドとのきらめく夏は、あまりにも短かった。

○上映日時:平成8年7月13日(土)、午前10時、午後2時の2回上演
○入場料:500円(小学生以上) ※問い合わせ:中央公民館 ☎945-3657

「平成8年度国民体育大会第16回九州ブロック大会」を成功させよう!

—西原町は秋季大会のバスケットボールの試合会場(8月17日・18日)です—

「平成8年度国民体育大会第16回九州ブロック大会」が、本県的那覇・宜野湾・沖縄・浦添・糸満・名護の6市及び西原・北谷・嘉手納・東風平の4町及び中城・読谷・大宜味・豊見城・大里・恩納・国頭・今帰仁の8村並びに大分県犬飼町・福岡県福岡市・筑紫野市の各競技会場で開催されます。

本大会は、九州各県から役員・選手団約6,500人が参加し29競技にわたって第51回広島国体の出場権を競う通称「ブロック国体」で、競技内容は全国大会にも匹敵するもので各競技と熱戦が期待されます。

去年は、浦添高等学校女子テニスの全国優勝、興南高等学校・宜野湾高等学校のボクシングが全国優勝・ウェイトリフティング・なぎなたの全国優勝等、本県競技スポーツの水準も年々向上してきております。

この機会に県民こぞってスポーツに対する関心と理解を深め、スポーツ水準の飛躍的向上の契機とするため県民総力を挙げて本大会を成功させましょう。

また、参加される各県選手団の方々に真心をこめたもてなしをするとともに、本県選手団に全力の激励・応援をお願いします。

[夏季大会]

(1)大会期日・競技種目

平成8年7月12日(金)~14日(日)

(ボウリング・漕艇・シンクロ)

平成8年7月21日(日)~23日(月)

(カヌー〈レーシング〉・水球)

平成8年7月28日(日)

(カヌー〈スラローム・ワイルドウォーター〉)

(2)参加者数

監督・選手等 約800人

[秋季大会]

(1)大会期日・競技種目

平成8年8月16日(金)~20日(火)

(サッカー外23競技)

(2)参加者数

監督・選手等 約5,600人

[冬季大会]

(1)大会期日・競技種目

平成8年12月6日(金)~8日(日)

(アイスホッケー)

(2)参加者数

監督・選手等 約240人

※一部、別日程により他県で開催する競技があります。

お知らせでーびる

わたしたちは、だれにも親切にし、互いに助け合いましょう。(町民憲章)